

# Ecology

環境のために、いま車が取り組むべき数々の課題を、クラウンセダンは、ひとつずつ着実に実行してきました。

トヨタは環境との調和を図った「トータルクリーン」の理念のもと、

「開発・生産・使用・廃棄」すべての過程で、人と地球にやさしい車づくりを進めています。

生産分野はもちろん、1998年には設計・開発分野において、自動車メーカーとしては国内ではじめてISO14001<sup>\*1</sup>の認証を取得。

このマネジメントシステムに基づき、あらゆる角度から環境保全対策を実施しています。

## 地球温暖化を 防ぐために

### [CO<sub>2</sub>削減]

温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>排出量の低減をめざして、精密な空燃比制御を実現する電子制御式LPG液体噴射方式=EFI-LPを採用した2.0L LPGエンジンを搭載しています。

## 都市環境の クリーン化のために



### [排出ガスのクリーン化]

2.0L LPGエンジンの投入により、NOx(窒素酸化物)、NMHC(非メタン炭化水素)の排出を大幅に低減。「平成17年基準排出ガス75%低減レベル」の認定を国土交通省より取得しています。

## リサイクルと 環境負荷物質削減のために

### [リサイクル性を向上]



TSOP使用部位

クラウンセダンは、リサイクル性に優れた素材TSOP<sup>\*2</sup>をバンパーや内装樹脂部品に積極的に採用。また鉛、水銀、カドミウム、六価クロムの使用量を削減し、業界目標を達成しています。車としての役割を終えた後のことまで十分に配慮しています。

\*1. ISO14001:国際標準化機構(ISO)が1996年9月に制定した環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格。環境負荷を継続的に低減できるシステムを構築した企業、自治体の組織などに認証が与えられます。

\*2. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer

## トヨタ クラウンセダンの環境仕様

車両仕様	車両型式	DBA-TSS10H	DBA-TSS10
エンジン	型式		1TR-FPE
	総排気量 (L)	1.998	
	燃料	LPG	
	駆動装置	後輪駆動	
駆動装置	駆動方式		4AT
	変速機		
環境情報	燃料消費率	10.15- <sup>3</sup> 燃料消費率(国土交通省審査値) <sup>*1</sup> (km/L)	9.8
		CO <sub>2</sub> 排出量 (g/km)	171
排出ガス	主要燃費改善対策		可変バルブタイミング
	認定レベル(国土交通省)		SU-LEV <sup>*2*3</sup>
	CO		1.15
		認定レベル値(g/km)	0.013
		NMHC	0.013
車外騒音	NOx		
	適合騒音規制レベル		加速騒音規制値: 76dB-A
	冷媒の種類 (GWP値 <sup>*4</sup> ) / 使用量 (g)		HFC-134a(1,430 <sup>*5</sup> )/750
	環境負荷物質の使用量		
リサイクル関係	鉛		自工会自主目標達成(1996年時点の1/10以下)
	水銀		自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止)
	カドミウム		自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)
	六価クロム		自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)
リサイクル関係	リサイクルしやすい 材料を使用した部品	(TSOP)	フロントバンパー、リヤバンパー、ピラー、ガーニッシュ、インストルメントパネル、運転席ドアパネル、センターパネル、助手席アンダーカバー、グラブボックス
		(TPO)	助手席エアバッグドア、ルームパーティション遮音シート
	樹脂、ゴム部品への材料表示		あり
	リサイクル材の使用	リサイクルPP	フロントバンパーロア、リヤバンパーロア、ラゲージサイドトリム

\*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

\*2. JC08モード走行。

\*3. 平成17年基準排出ガス75%低減レベル。

\*4. GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数)

\*5. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求めております。